



佐々木 求 議員

## 後期高齢者医療 制度の見直しを

### 高齢者医療守れるか

佐々木 現在扶養家族の人も例外なく保険料を払い、保険料は年金から天引きされる。

医療そのものを制限し、別建ての診療報酬制度で差別している。滞納者には十数万円の罰則や、資格証の交付をする。また診療報酬別建ての包括払い制度、定額制を導入しようとしているが、病院の経営にも非常に大きな問題だ。

鳥取県後期高齢者医療広域連合に対して、資格証の発行をやめるとか、政府に対し四月実施の中止を求めざるべきではないか。町は窓口として対応しなければならぬ苦勞を押し付けられる。

町長 広域連合が資格管理や被保険者証の交付、保険料の決定、医療の給付を行い、町は各種届出の受付や被保険者証等の引渡し等窓口業務、保険料徴収となる。

適正な制度の運用を広域連合に働きかけていく。  
国の施策について意見すべきは物を申すという姿勢で対処したい。

末端の町として、本当にどうなるのか懸念を抱いている。走り出してからでは遅い部分

もあり、走り出さないと解らない面もあるので、言うべきことはきちんと後期高齢者連合にも申していく。

### 森林環境保全税の活用を

佐々木 森林環境保全税が三百円から五百円に引き上げられる。

町が経済的にも落ち込む中、活力や元気の出る事業の一つとして、県が十割負担の事業を拡大できないか。昨年度の枠も残っているの、弾力的な運用をするとしている。

間伐材持ち出しに立米当たり四千円の県の支援を含めて林家へ還元する日南町は、山林資源が大きく、大規模に考



後期高齢者医療制度の見直しが必要

えている。

本町の山が急峻なところは、この制度の活用に難しさはあるが、今日の経済情勢の中で、林家や森林資源を守る上で大事ではないかと考えるが。

町長 森林環境保全税の整備事業では、二十年間全伐、転用ができないことや、十年は補助事業を使った間伐ができないなどの制約がある。

間伐材持ち出し支援事業を活用し、事業拡大を図りたい。また制度の併用も県に要望していく必要がある。

農業も厳しいが、林業の局面はまだ厳しい。是非とも実行していきたい。

6日	議会運営委員会
7日	県議会役員会
9日	日野町生涯学習まちづくり大会
10日	例月出納検査
12日	第七回町議会定例会
13日	全員協議会
14日	総務経済常任委員会
17日	教育民生常任委員会
18日	第七回町議会定例会
20日	全員協議会
21日	定例監査
1月	日野病院組合議会臨時会
8日	議会広報調査特別委員会
10日	例月出納検査
17日	西部議長会連絡会
21日	第一回町議会臨時会
22日	全員協議会
23日	議会広報調査特別委員会
	教育民生常任委員会
	視察
	第二回町議会臨時会
	全員協議会
	議会広報調査特別委員会